令和５年　９月　１日　　台　東　育　英

台東育英

台東区立台東育英小学校

Ｎｏ．５　　統括校長　瀬下　清

http://www.taitocity.net/taitouikuei-s/

２学期の教育活動が始まりました

統括校長　　瀬下　清

秋涼とは名ばかりで、厳しい残暑が続いております。

本日より、元気な子供たちの声とともに、２学期がスタートいたしました。今学期も子供たちにとって、充実した教育活動となるよう教職員一丸となって努めてまいります。何卒よろしくお願いいたします。

さて、この夏、日本でも世界の各地でも、沸騰するような記録的な猛暑となりました。その一方で、大雨等の災害も頻発し、甚大な被害を及ぼしています。被災された方々へお見舞い申し上げるとともに、一日も早い復興を祈っております。

先日、人命に関わるような出来事がありました。自宅近くの踏切でのことです。踏切の警報音が鳴り、遮断機が下りている中で、転倒した自転車と出血した子供二人を抱えた母親がいるではありませんか。「このままでは、三人とも死んでしまう」「でも、自分の命は大丈夫だろうか」と一瞬、考えましたが、とにかく急いで、母親と一緒に、子供たちと自転車を踏切から引きずり出しました。その後、警察や救急車等の連絡を入れ、命を救うことができました。恐ろしさから母親は、全身が震えていましたが、私自身も暫く体の震えが治まりませんでした。踏切の外で、二人の幼い子供たちが、泣きながら母親に抱きついている姿を見て、安堵しました。

そして、次元は異なりますが、ご家族から子供たちの命を預かる学校の責任者として、さらに身の引き締まる思いをした出来事でした。

話は変わりますが、今、急速に進む人工知能（ＡＩ）は、活用の仕方次第では人類の驚異となるとも言われています。チャットＧＰＴなどの生成ＡＩの学校教育での活用について、文科省がガイドラインを公表したところです。民間調査によると、中高生の約５人に１人がチャットＧＰＴを勉強に利用した経験があり、チャットＧＰＴの認知度は９割、理解度は６割だったということです。渋谷区のある小学校で、生成ＡＩを学校でどう活用するかを考える教員研修が行われました。そこで、試しにチャットＧＰＴに「渋谷区の区長は誰ですか？」と質問をすると、渋谷区の歴代の区長にもいない氏名が表示されたそうです。チャットＧＰＴは、言葉を統計的に表示しているだけなので、内容の正しさは考慮されていないということです。

ＡＩを活用した未来ロボット技術研究の第一人者である千葉工業大学の古田先生は、チャットＧＰＴのできないことは、「善悪の判断ができない」「責任を負うことができない」の二つであると語っています。ＡＩの学校教育での活用方法については、今後、子供たちに何を身に付けさせなければないないか研究し、進めていかなければならないとことだと考えます。

台東育英小学校では、「特別の教科　道徳」の授業を要として、学校教育全体を通じて道徳教育を進めながら、子供たち一人一人の心を育てているところです。教室の中での学習はもちろん、いろいろな学校行事を通して、生成ＡＩを使いこなせる力を身に付けさせていきたいと思います。今学期も学校教育に対しましてご理解とご協力を賜りますよう何卒よろしくお願いいたします。

日光林間学園について

６年担任　栗原和恵　町田広美

夏休み中、８月７日～9日の２泊３日で、６年生は日光林間学園に行ってまいりました。

〇日光の自然や歴史を学ぶこと

〇協力し合い、友情を深め、集団生活すること

〇お世話になるすべての方々に、感謝の気持ちを言葉と行動で伝えること

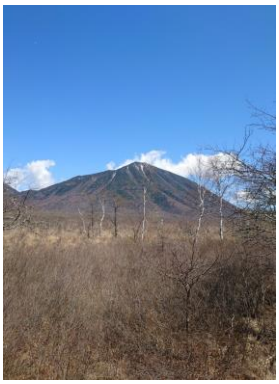
これらのめあてをもって出発しました。３日間を通して、文化遺産や雄大な自然、ガイドの説明に素直に感心したり、感動したりしていました。また、昨年度の霧ヶ峰移動教室の経験を生かして、見通しをもって行動し、「時間を守ること」を意識する等、大きな成長を感じることができました。

【１日目】だいや体験館で、日光東照宮の事前学習をしました。約100年前の10分の１サイズの模型を見ながら、施設の方の話を聞いて、学びました。模型といえども全国から集められた宮大工がつくったという精巧なものでした。午後は日光江戸村へ行き、行動班で、ショーやアトラクションを堪能しました。夜は、宿舎にて日光彫を行いました。苦戦しながら、自分だけのオリジナル作品を一生懸命に作製しました。

【２日目】華厳の滝を見学した後、湯元で源泉を見学し、リトマス試験紙や銅板を用いた実験をしました。その後、湯滝から戦場ヶ原のハイキングを行いました。空気のおいしさや、川の水の透明度の高さに感動したり、鳥や虫の声に耳をそばだて、大いに自然を感じていました。ゴール地点の竜頭の茶屋では、竜頭の滝を正面に見ながら、皆おいしそうに笑顔でソフトクリームを食べていました。宿舎に戻ってからは、ゆっくり入浴し、温泉を堪能していました。

【３日目】日光東照宮の見学をしました。クラスごと、案内人さんにガイドしてもらったので、東照宮の建造物にまつわる歴史的背景を詳しく知ることができました。三猿を見学しながら、人生論も語っていただき、今後の人生を見つめる児童もいました。お土産やさんでは、家族に何を買うか真剣に悩み、必死に金額を計算する姿が微笑ましかったです。

この３日間、日光での学びを心から楽しんでいる様子が伝わってきました。良いものに触れ、その良さや価値に気付くという感性をこれからも学校でも育てていきたいです。日光で学んだことや、学年としてのチームワークをこれからの生活に生かし、台東育英小学校の最高学年として、今後さらに活躍してくれることを期待しています。



２学期の学校行事について

普段の授業だけでなく、子どもたちは学校行事を通して一段と成長をします。実りの秋である２学期は学校行事がたくさんあります。主な学校行事は９月末に運動会、そして１１月中旬の行事予定表に「文化的行事」と記していたものは、音楽会を行います。ご承知おきください。

霧ヶ峰移動教室について

５年担任　　髙橋芳絵　伊野瀬幸

６月１２日（月）～１４日（水）の３日間、５年生は霧ヶ峰移動教室に行ってきました。友達との宿舎での生活や自然豊かな環境での体験は、普段の学校生活ではなかなか味わえないものでした。３日間、時間を守って行動するために５分前行動を心掛けました。自分のことだけでなく、互いに声を掛け合いながら過ごす姿が次第に増え、学年全体として「自立」「協力」「思いやり」の大切さを意識した移動教室になりました。

【１日目】丸井伊藤商店では、味噌作り体験をしました。活動に対しての意欲が高く、質問をする場面では、多くの手が挙がり、積極的に学ぼうとする姿が見られました。夜はキャンプファイヤーで、歌やダンス、ゲームを楽しみました。

【２日目】車山登山では、天候に恵まれ、良い景色を楽しむことができました。リフトにて下山し、午後は八島湿原を散策しました。東京では見ることのできない植物を見付け、珍しそうに眺めていました。夜はビーチボールバレー大会を楽しみました。

【３日目】朝食までの限られた時間の中で、寝具の片づけや部屋の清掃、荷物の整理など、班員で協力して行うことができました。宿舎を出発し、鷹山ファミリー牧場では、ソーセージ作り体験とトラクター乗車をし、食や命についての学習をすることができました。

帰校後の５年生の表情からは、３日間友達と多くの体験をして、ひと回り成長したことがうかがえました。移動教室での体験を生かし、高学年として台東育英小学校をリードしていくことを期待しています。

タブレットの持ち帰りと連絡帳につきまして

一人一台端末を用いて学習を進めております。本校では、１学期よりタブレットの持ち帰りを進め、児童が可能な限り、触れる機会を増やしております。２学期からは、さらに翌日の予定や担任からの連絡事項をタブレットで配信し、児童が受け取れるようにしていきます。発達段階に応じて、少しずつ取り組んでまいりますので、ご自宅でのサポートもよろしくお願いいたします。

☆お知らせ☆

２学期からは、環境保全の観点からペーパーレスにさらに取り組んでまいりたいと思います。
下記以外のお便りは、基本的には「スママチ」での配信となりますのでご承知おきください。

・学校だより　　・保健だより　　・給食献立